

5 同和問題に関する人権意識と他の人権意識・差別意識との関連—〈視点3〉

同和地区に対するイメージについては、既に「4 同和地区に対する差別意識の形成要因」において因子分析を行ってきました。ここでは、因子分析によって除外された項目も加えて、人権意識、差別意識との関連を「単相関分析」によって検討することにします。

表5において、列には同和地区に対するイメージ項目、行には人権意識尺度を並べています。相関係数の太字部分は5%水準で有意であることを示しています。マイナスは逆相関を表します。すなわち、2変数間の関連が、一方が数値の高い方向に変化すると、他方は数値の低い方向に変化するというように、変化の方向が逆向きであることを意味します。

なお、「所得の低い人が多く住んでいる」、「親切で、人情味にあふれた人が多く住んでいる」、「地域社会の中での連帯意識を持った人が多い」、「人権問題について意識の高い人が多い」については、「そう思う」1点、「どちらかといえばそう思う」2点、「どちらともいえない」3点、「どちらかといえばそう思わない」4点、「そう思わない」5点の5件法です。そのため、これらの項目と種々の人権意識尺度との関連において、逆相関で有意差が認められる場合には、これらの項目に「そう思う」や「どちらかといえばそう思う」と回答をした人ほど人権意識が高いと解釈することができます。

表5 同和地区に対するイメージと他の人権意識との関連

		反集団優遇 イメージ	人権交流 イメージ	1所得の低い 人が多く住 んでいる	2親切で、人情味 にあふれた人が 多く住んでいる	4地域社会の中で の連帯意識を 持った人が多い	5人権問題につ いて意識の 高い人が多い
排除問題意識	相関係数	0.096	0.089	-0.078	-0.130	0.119	0.075
	有意確率	0.019	0.032	0.060	0.002	0.004	0.069
	N	587	586	583	583	583	583
体罰問題意識	相関係数	0.136	0.050	0.032	-0.080	0.033	-0.004
	有意確率	0.001	0.225	0.436	0.051	0.419	0.932
	N	595	593	590	590	590	590
人権推進支持意識	相関係数	0.158	0.158	0.051	-0.115	0.023	0.092
	有意確率	0.000	0.000	0.226	0.006	0.584	0.028
	N	578	575	568	568	568	568
被差別責任否定意識	相関係数	0.230	0.131	0.096	-0.122	0.038	-0.086
	有意確率	0.000	0.002	0.022	0.004	0.361	0.040
	N	578	576	569	569	569	569
差別容認否定意識	相関係数	0.142	0.053	0.036	-0.135	0.022	-0.065
	有意確率	0.001	0.200	0.384	0.001	0.604	0.119
	N	582	579	573	573	573	573
結婚排除否定度	相関係数	0.107	0.019	0.022	-0.117	-0.064	-0.084
	有意確率	0.010	0.651	0.595	0.005	0.122	0.043
	N	584	580	579	579	579	579
反忌避意識度	相関係数	0.245	0.071	-0.040	-0.143	0.006	0.010
	有意確率	0.000	0.090	0.339	0.001	0.886	0.803
	N	582	579	575	575	575	575

「反集団優遇イメージ」とすべての人権意識尺度との間にプラスの相関がみられます。すなわち、人権意識の高い人は同和地区が優遇されているといったイメージを持っていない傾向が高いということです。

「人権交流イメージ」と「排除問題意識」、「人権推進支持意識」、「被差別責任否定意識」と高い関連がみられますが、「体罰問題意識」、「差別容認否定意識」、「結婚排除否定意識」、「反忌避意識」とは関連がみられません。すなわち、「同和問題以外の人権問題にも積極的な取組みが進められている」、「同和地区の人々が地域外の人々との

交流に力を入れている」というイメージを持っている人が体罰を問題と思っているとは限らないし、結婚相手として排除することを否定する意識が高いわけではないということです。

「所得の低い人が多く住んでいる」と思っている人ほど、「排除問題意識」が高い傾向にありますが、「被差別責任否定意識」は低い傾向にあります。

「親切で、人情味にあふれた人が多く住んでいる」と思っている人ほど、総じて人権意識が高い傾向にあります。ただし、「体罰問題意識」とは関連がみられません。

「地域社会の中での連帯意識を持った人が多い」と思っている人ほど、「排除問題意識」は低い傾向にあります。

「人権問題について、意識の高い人が多い」と思っている人ほど、「人権推進支持意識」、「被差別責任否定意識」、「結婚排除否定意識」が高い傾向にあります。総じて、同和地区に対する肯定的なイメージは、「被差別責任否定意識」と関連が高いことがわかります。

【知見】

- 人権意識の高い人ほど、同和地区にたいする「反集団優遇イメージ」は高い傾向にある。
- 同和地区に対する肯定的なイメージと、「排除問題意識」、「人権推進支持意識」、「被差別責任否定意識」、「結婚排除否定意識」、「反忌避意識」と関連が高い。ただし、「体罰問題意識」とは関連がみられない。